
ゴッド・イーター

ILUMA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゴッド・イーター

【Nコード】

N6109L

【作者名】

I L U M A

【あらすじ】

脳内妄想乙な感じの小説。続きませんし書きません。

咆哮。

地を揺らし、空を揺らし、人の命のともし火すらもその叫びによって揺らし消す。

「ふう・・・なんとかあったか」

そういい、巨大な剣を肩に担ぎ上げながら息をつく。

総勢10人の男女で構成された一団が、巨大な生物を取り囲む。

チェスのKingのような顔を持ち、その肢体は獅子のそれを連想するそれは

横たわり微動だにしていない。

「まさかピターがこんな所に出るとは思わなかったが手負いで助かったな。ジャック」

「ああ・・・しかしピターとはな・・・とりあえず捕食しろ。レアものが出れば御の字だ。」

ジャックと呼ばれた短剣を携えた男は幾分、背の小さい細身の男だった。

ピターと呼ばれた”それ”を念入りに見ていた隊員の一人が焦ったような顔で巨剣の男に声をかける

「ノザキ隊長、ピターの内部に生体反応が・・・」

「なんだと？生きたままアラガミを丸呑みにしたってのか・・・？」

全く・・・とんだ暴食猫だな・・・
全員臨戦態勢を取れ！腹あ搔つ捌くぞ！」

数名の隊員がピターを取り巻き、ジャックとノザキがそれぞれ剣を上段に構える。

生体反応にしては動きがない。そう思ったノザキは一つの可能性を考えた。

人間を丸呑みにした可能性は・・・？

「ジャック、中の”何か”を傷つけないように気をつける・・・」

「ああ・・・了解した・・・。」

返事をして間をおかず、二人は息を吸い込む。

吸い込んだ息を吐かずに、その口を嚙つくんだんだと同時に

縦に剣を振り下ろす。

対アラガミ特有の斬撃音を響かせながら、ピターだったものの腹にぱっくりと新たな口が開く。

ドチャッ

「おい・・・ノザキ・・・こいつあ一体・・・」

出てきたモノを見ている全員の顔に、その現状は恐怖と驚愕の色を映し出していった。

そうしてこの世界は今日もまた続いていく。

一握りの選ばれた人間と、選ばれたが故に野に下った人間のそれぞれの物語が。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6109/>

ゴッド・イーター

2010年10月11日03時43分発行